

6 ^{かん} 海岸の灌木(照葉樹)



2006.5.17 勝浦市

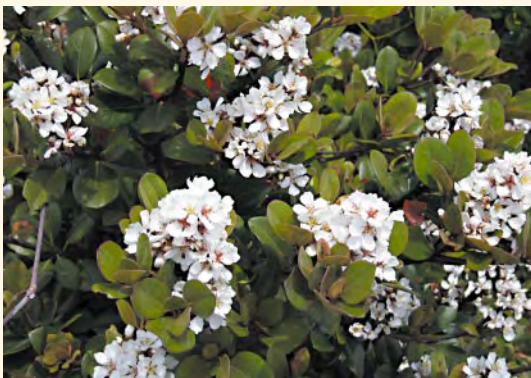
トベラ

Pittosporum tobira

分類 トベラ科トベラ属
分布 岩手以南、四国、九州、沖縄
花期 4～6月

海岸の山や土手に生える常緑の低木で、潮風や公害に強く、垣根などに使われる。

節分に、枝を扉にはさみ、鬼を追い払うということから「トビラノキ」「トビラギ」となりトベラになった。



2007.5.16 鴨川市

マルバシャリンバイ

Raphiolepis umbellata var. *integerrima*

分類 バラ科シャリンバイ属
分布 本州、四国、九州
花期 4～10月

シャリンバイの変種で葉が丸くなったもの。海岸の崖や丘に生える常緑の小低木で、庭木にする。白い花が終わると黒く丸い果実がつく。



1997.5.23 勝浦市

ヒメユズリハ

Daphniphyllum teijsmannii

分類 ユズリハ科ユズリハ属
分布 関東以西、四国、九州、沖縄
花期 5～6月

海岸近くの林に生える常緑の高木で、葉はユズリハに似る。雌雄異株で、雌株には冬になると広楕円体の実が黒く熟する。

正月の飾りで小型のものはこの葉が使われる。



2005.7.1 勝浦市

イヌビワ

Ficus erecta

分類 クワ科イチジク属
分布 関東以西, 四国, 九州
花期 4～5月

高さ3～5mになる暖地性の落葉低木で、海岸以外でも見られる。イチジクのなかまで、黒く熟した果実は食べられる。イヌビワコバチという昆虫が花粉を媒介する。



2001.4.27 銚子市〔T〕

タブノキ

Persea thunbergii

分類 クスノキ科タブノキ属
分布 本州, 四国, 九州, 沖縄
花期 4～6月

15～20mになる照葉樹林の主要な樹木で、海岸沿いに多い。4～6月に新葉と黄緑色の花が同時に出る。単に「タブ」と呼んでいる人もいる。



1997.11.6 勝浦市

ヤブニッケイ

Cinnamomum japonicum

分類 クスノキ科クスノキ属
分布 関東以西, 四国, 九州, 沖縄
花期 6～7月

スタジイ林に普通に見られる常緑高木で、芳香がある。

シナモンの原料となるニッケイは、江戸時代から栽培されている移入種で野生化している。



2001.3.23 南房総市〔T〕

ヤブツバキ(ツバキ)

Camellia japonica

分類 ツバキ科ツバキ属
分布 青森県以南、四国、九州
花期 2～4月

海の近くの林でよく見るが、植栽されたものも多い。種子からツバキ油がとれ、古くから髪油などに利用された。いすみ市大原では、古くから生け垣にヤブツバキが多く使われている。



2001.12.17 館山市〔T〕

ボウシュウマサキ

Euonymus japonicus form. obovatus

分類 ニシキギ科ニシキギ属
分布 本州、四国、九州
花期 7～8月

高さ3m程になる常緑樹で、垣根や庭木に利用される。

マサキは変異が多く、沿海のものは枝が横に張り葉が倒卵形からやや円形で、ボウシュウマサキと称される。



2007.6.14 勝浦市

ガクアジサイ

Hydrangea macrophylla form. normalis

分類 アジサイ科アジサイ属
分布 関東南部以西の太平洋岸
花期 6～7月

高さ3m程になる落葉または半常緑の低木。ガクアジサイのガクは額で、装飾花によって花序の周辺が縁どられたようすをなぞらえたもの。

日本固有種で園芸種のアジサイの原種である。



2007.10.18 勝浦市

マルバアキグミ

Elaeagnus umbellata var. *rotundifolia*

分類 グミ科グミ属
分布 本州(関東沿岸)
花期 4～5月

アキグミの海岸型。落葉性で、秋(10～11月)に実をつける。グミのなかまは葉が白く見えるが、本種は枝の部分も白っぽく見える。



2000.4.20 館山市〔T〕

マルバグミ(オオバグミ)

Elaeagnus macrophylla

分類 グミ科グミ属
分布 関東以西, 四国, 九州
花期 10～11月

海岸の林の中や丘などに生えるつる性の常緑性の木本。



1998.5.3 勝浦市



2005.4.30 市原市〔T〕

ウバメガシ

Quercus phillyraeoides

分類 ブナ科コナラ属

分布 関東以西、四国、九州、沖縄

花期 4～5月

海岸の岩礫地に生える常緑の低木。備長炭の原料として有名だが、庭木としても植えられよく目にする。

勝浦市や鋸南町で自生が確認されている。



2001.8.11 館山市〔T〕

カシワ

Quercus dentata

分類 ブナ科コナラ属

分布 北海道、本州、四国、九州

花期 5～6月

高さ1.5mになる落葉広葉樹。葉は12～32cmで日本のブナ科では最も大きく、柏餅に使われる。

庭にもよく植えられ、千葉県では海岸に多く見られる。



2000.8.18 千葉市〔T〕

マテバシイ

Lithocarpus edulis

分類 ブナ科マテバシイ属

分布 本州、四国、九州、沖縄

花期 6～7月

常緑高木で高さは1.5m程になる。堅果のドングリは、子供のおもちゃとして親しまれている。

薪炭材として各地に植えられた。鴨川市天津周辺などではうっそうとした林冠が独特の景観をつくっている。



2006.8.13 南房総市

ハマボウ

Hibiscus hamabo

分類 アオイ科フヨウ属
分布 関東以西, 四国, 九州
花期 7～8月

学名は「ハイビスカス・ハマボウ」という意味で、日本原産のハイビスカスである。花は朝咲いて夕方終わる1日花。



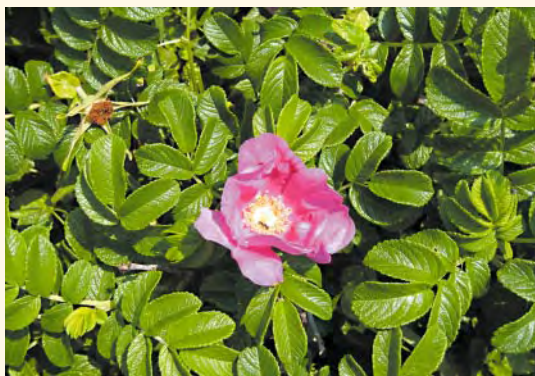
2006.8.6 館山市〔T〕

オオシマハイネズ

Juniperus lutchuensis var. *maritima*

分類 ヒノキ科ネズミサシ属
分布 北海道, 本州, 四国, 九州
花期 4～5月

地をはってひろがる常緑低木。葉は針状で、ハイネズは葉の断面がU字形だが、オオシマハイネズは皿状または深い皿状である。



2007.5.8 いすみ市

ハマナス(ハマナシ)

Rosa rugosa

分類バラ科バラ属
分布 北海道, 本州(千葉県以北)
花期 5～6月

よく知られた寒地性の植物で、太平洋側では千葉県以北に分布する。

九十九里町の自生地では、町の天然記念物として保護されている。公園に植栽され逸出したものも見られる。



イワタイゲキ

参 考 図 書

- ・新版千葉県植物ハンドブック 千葉県生物学会編 たけしま出版 2004
- ・千葉県の自然誌本編 5 千葉県の植生 千葉県史料研究財団編 2001
- ・千葉県の自然誌別編 2 千葉県植物写真集 千葉県史料研究財団編 2005
- ・千葉県の自然誌別編 4 千葉県植物誌 千葉県史料研究財団編 2003
(学名は『千葉県植物誌』を参考にしています)

監 修 ・ 写 真 協 力

野口 昭造 (千葉県立中央博物館友の会会員)
田中 助夫 (元勝浦市市史編纂専門委員)
天野 誠 (千葉県立中央博物館上席研究員)
富塚 朋子 (東京大学大学院博士課程) (撮影者名の略 T)

執筆担当: 布留川 毅 (海の博物館 分館長)
編集協力: 山本 悦子 (海の博物館ボランティア)

海の生きもの観察ノート⑦ 海辺の植物を観察しよう

2008年(平成20年) 3月31日発行

編集・発行 千葉県立中央博物館分館海の博物館

〒299-5242 千葉県勝浦市吉尾123

電話 0470-76-1133

URL <http://www.chiba-muse.or.jp/UMIHAKU/index.htm>

(本誌掲載内容の無断転載をお断りします)

Coastal Branch of Natural History Museum and Institute, Chiba



CHIBA